

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	広域幹線道路対応救助資機材整備事業			事業番号	18-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	消防本部	和田 健一郎	消防総務課	川口 康彦	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	8	暮らしの安全を守るまちをつくる	
		施策	18	迅速で適切な消防・救急体制の充実	
予算事業名	消防本部・署施設整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度	令和3年度
関連法令等	消防組織法、消防力の整備指針				
国・県の計画等	第二東海自動車道整備事業、厚木・秦野道路整備事業			計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	広域幹線道路の開通により、高速道路本線上における火災・救助・救急等の新たな消防需要の増加に対する的確な対応が求められます。				
目的 (何をどうしたいのか)	新東名高速道路のトンネル災害に対応する資機材を整備します。また、高速道路本線上へ救助隊が出動中に、市域で発生する救助事案にも迅速に対応するための救助資機材を配備します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び道路利用者				
事業内容 (手段、手法など)	・新東名高速道路のトンネルにおける災害に迅速・的確に対応するとともに、密閉空間における隊員の安全を確保するため、トンネル災害対応資機材を整備します。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	広域幹線道路対応資機材整備	トンネル災害対応資機材整備	災害運用		
目 標	【指標名】	年度			
		【現状値】	令和3年度	令和4年度	
	トンネル災害対応資機材の整備	整備資機材の精査(令和2年度)	トンネル災害対応資機材整備完了	災害運用	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	トンネル災害対応資機材を開通まで、間に合うように執行・整備をします。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	広域幹線道路対応資機材整備	資機材整備完了	
実施した取組の内容	新東名高速道路のトンネル災害に対応する資機材を整備しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度
	トンネル災害対応資機材の整備	整備資機材の精査 (令和2年度)	令和4年度

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	内訳	事業費合計 (a)	8,946	千円					千円	
		国県支出金 ①	0	千円					千円	
		地方債 ②	0	千円					千円	
		その他特財 ③	0	千円					千円	
		一般財源 (a)-①-②-③	8,946	千円				0	千円	
	国県支出金の内容									
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.064	人	524	千円		人		千円
		その他の職員		人	0	千円		人		千円
		人件費合計 (b)	0.064	人	524	千円		人		千円
	トータルコスト (a)+(b)		9,470		千円				0	千円
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民及び道路利用者		単位				
			対象数	101,381	人					
総事業費 / 対象数		93	円					円		

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	新東名高速道路、伊勢原大山インターチェンジ開通に伴い、トンネル内における災害に対応するための資機材を整備しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	他都市の資機材と同水準で整備しました。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	高速道路のトンネル内における災害に対し、迅速・適確に対応できるとともに、現場活動における隊員の安全確保にも繋がります。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	広域幹線道路の整備に伴う救助資機材の整備は計画どおり完了しました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	災害対応資機材整備が計画どおり進捗しました。
令和4年度 of 取組方針		令和3年度で整備完了しました。		
所管部長による総評		広域幹線道路の整備に伴う救助資機材等の整備が計画どおり完了しました。また、伊勢原大山インターチェンジからの上下線が開通したことから、整備した資機材を最大限に活用し、高速道路内における災害活動及び現場活動における隊員の安全確保に万全を期す必要があります。		